

# 桜まいらい

# 梅くし

二〇二五 春色に染まる花の寺

山内一帯に咲き誇る梅花と盆梅展示で、ひとあし先に春を感じる

3/19(水) 午前8時～午後4時

4/6(日) 午前8時～午後4時

2/18(火) 午前8時～午後4時

3/18(火) 午前8時～午後4時

紫式部ゆかりの花の寺

大本山 石山寺

さまざまな桜花の彩りの中で、観音さまへのお参りのひとときを

会場 大本山 石山寺 入山料 600円(小学生250円) 主催 大本山 石山寺/一般社団法人石山観光協会



## 日本料理 新月 「梅のちりめん山椒」

石山寺の表参道に面した日本料理の新月では、お持ち帰り用に梅風味のちりめん山椒をご用意しました。  
20g 400円(税込) 2個(20g/個)750円(税込)

## 蕎麦屋 すみ蔵 「梅おろし蕎麦セット」 (天ぷら・デザート付)

すみ蔵こだわりのお出汁と、梅のさっぱりとした風味を楽しめます。天ぷらと蕎麦のパンナコッタがつくおすすめのセットです。  
2,300円(税込) 1,320円(単品/税込)



## 甘味処 和菓子 茶丈藤村 「蕎麦薯蕷 薫苑」

石山寺の梅の枝にふんわり積もる雪に、ぽっと膨らむ紅梅をあしらった薯蕷まんじゅうです。単品 324円(税込)

## 甘味処 和菓子 茶丈藤村 「石山寺のさくら餅」

かわいらしいお嬢さんに見立てた紅白のさくら餅。細かい道明寺でこし餡をあっさりとした食感にいただけます。  
紅白ひと組 302円(税込)



## 揚げみたらしほたるの里 「揚げみたらし 梅の香」

外はカリカリ、中はモチモチとした新触感の揚げみたらし。甘酸っぱい梅だれがクセになる春らしい味覚を楽しめます。  
1本 170円(税込)

## 石山寺 大本山

石山寺界隈の各店舗では、期間中に梅や桜にちなんだ期間限定のお食事や甘味、お茶などの商品をご用意しています。

## 花梨糖饅頭 仁々木 「梅花梨糖」

紀州の梅を生地に混ぜ込み、ザラメを使わず梅の酸味を楽しめるように作った、この時期だけの花梨糖商品です。  
380円(税込)



## 和菓子 叶 匠壽庵 「標野紅茶」

叶匠壽庵の寿長生の郷で育てた城州白梅の香り高い大粒の梅で作った「標野」と、茶の名産地である朝宮の和紅茶のセットです。500円(税込)

## 志じみ釜めし うなぎ料理 湖舟 「うなぎ釜めしの春定食」

梅と大葉香る、うなぎ釜めしとひつまぶしです。そのまま食べて香りを、お出汁をかけて2度の味わいをお楽しみください。3,000円(税込)

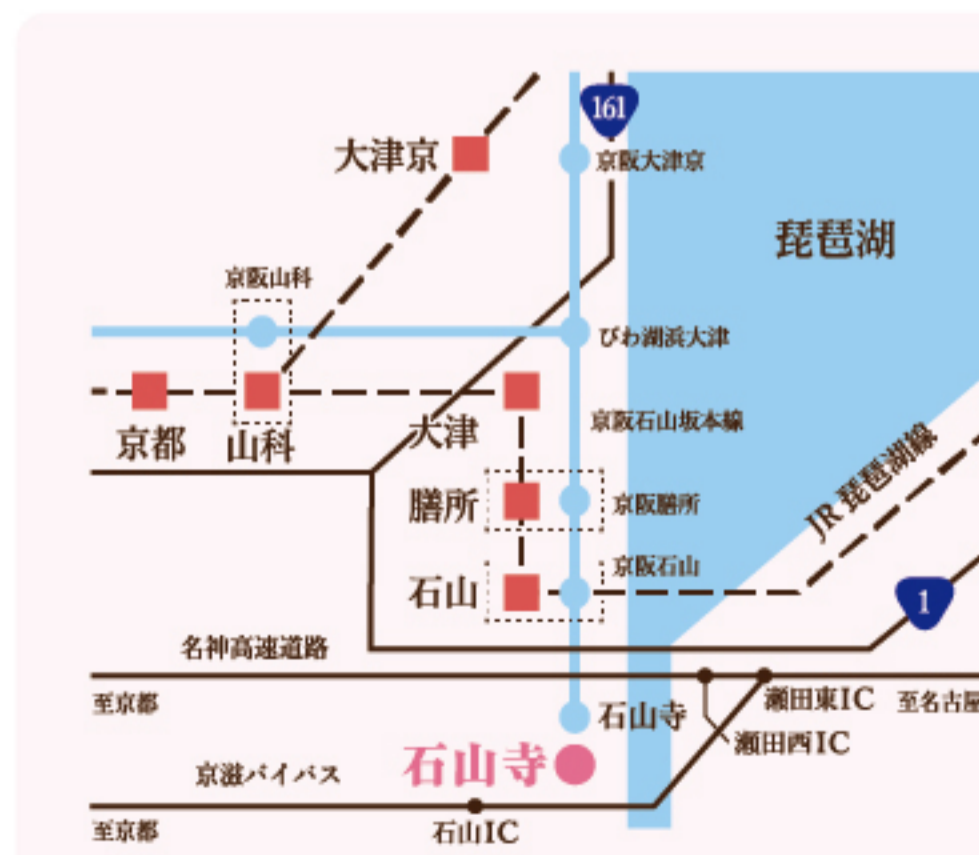


## 淡味の膳処 洗心寮 「自家製梅ゼリー」

1,500円以上のお料理をご注文いただいたお客様に自家製梅ゼリーをおつけいたします。

## 石山寺プリン本舗 「いちごプリン」2種

期間限定で販売する滋賀県産のいちごを乗せた期間限定のプリン。いちごジュレと果肉を楽しめる2種類を用意しています。  
ともに460円(税込)



**JRをご利用の場合**  
■ JR大阪駅→(約55分)/JR京都駅→(約30分)  
JR大阪駅→(約25分)→JR京都駅→(約15分)→JR石山駅乗換え→京阪石山駅→(約5分)→石山寺駅下車徒歩(約10分)もしくはJR石山駅 京阪バス(1番乗場約10分)→石山寺山門前バス停下車すぐ

**京阪電車をご利用の場合**  
■ 三条京阪駅→(約50分)  
三条駅[地下鉄三条京阪駅]→(約22分)→びわ湖浜大津駅乗換え→(約16分)→石山寺駅下車徒歩(約10分)

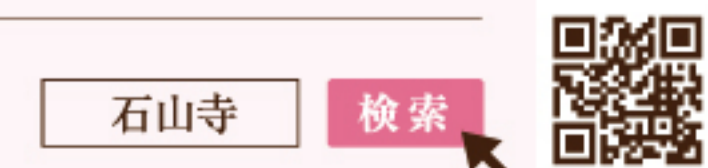
**お車でお越しの方**  
■ 大阪・京都 方面から「名神高速道路 瀬田西IC 出口」を降りて約10分  
■ 東京・名古屋 方面から「名神高速道路 瀬田東IC 出口」を降りて約10分  
■ 宇治方面から「京滋バイパス 石山IC 出口」を降りて約10分  
※ナビを使ってお越しの方は「石山寺観光駐車場入口」を目的地に設定してください。「石山寺」の設定では駐車場から離れた道へ誘導されますのでご注意ください。

源氏物語 紫式部ゆかりの花の寺  
大本山 石山寺  
〒520-0861 滋賀県大津市石山寺1-1-1

紫式部展についてのお問合せ  
大本山 石山寺  
TEL 077-537-0013

梅くし・桜まいらいについてのお問合せ  
一般社団法人石山観光協会  
TEL 077-537-1105

ご注意ください ●新型コロナウイルス感染対策として、入山される方はマスクの着用をお願いいたします。 ●企画などは変更になる場合がございます。また、感染状況等で人数制限を行う場合もあります。



# 大本山石山寺 梅・桜の見どころ MAP

紫式部ゆかりの花の寺

境内梅・桜観覧ルート →



## 石山寺 梅のおはなし

石山寺第三代座主の淳祐内供は菅原道真公の孫にあたり、大変優れた学僧でした。淳祐内供像が祀られる御影堂の右奥に淳祐内供の住まいだった普賢院の跡地があります。ここに歴代座主が大切にされてこられた古い梅を境内各所から移して第一梅園が作られました。石山寺には他に2つの梅園があり、3つの梅園であわせて約40種類400本の梅が咲き誇ります。



## 石山寺 桜のおはなし

石山寺には早咲きの「カワヅザクラ」「カンザクラ」「ヒガンザクラ」から、「ソメイヨシノ」「シダレザクラ」、遅咲きの「サトザクラ」までさまざまな種類の桜が植えられています。境内の約600本の桜は、3月上旬から4月中旬まで境内各所で美しい花を咲かせてくれます。ぜひ境内を散策しながら桜の多様性を楽しんでいただきたいと思います。



## 特別なお参りの時間を過ごしてください

「本堂内陣特別拝観」のご案内  
 今回の内陣拝観では、今年の干支である「巳」にちなみ、蛇とゆかりのある仏さま、そして水にゆかりの仏さまにお参りいただけます。仏教において蛇は、執着や嫉妬の象徴とされることもあります。また、龍とともに水とも関わり深い存在です。そのことになみ、功德水の入った水瓶を持つ十一面観音、巳年の方向を守護する因達羅大将(いんだらだいしやう)板彫十二神将立像のうち、インドの水の神が仏教と習合した八臂弁才天に特別にお参りいただけます。



期間: 2月18日(火)～11月30日(日)  
 時間: 午前8時～午後4時30分(受付は午後4時15分まで)  
 会場: 石山寺本堂内陣  
 拝観料: 一般500円/小学生250円(入山料別途)

## 石山寺の寺宝を鑑賞できる

「石山寺と紫式部展」のご案内  
 紫式部が参籠し「源氏物語」の構想を練ったという伝承が残る石山寺では、春秋に石山寺の歴史や文化、ゆかりの紫式部と「源氏物語」にちなんだ展示を行っています。二〇二五年の春季では「光源氏と運命の星」と題し、紫式部と「源氏物語」の名場面を紹介しながら主人公・光源氏を占った密教僧「宿曜師」にスポットを当て、関連する源氏絵を展示いたします。あわせて、石山寺に伝わる星に関する信仰を示す資料も公開いたします。昨年修理が完了した土佐光起筆「紫式部図」を期間限定で展示いたします。秋季展示では、文化財の保存や修理に関する展示を行う予定です。展示に関する情報はホームページをご確認ください。



期間: 春季展示 3月18日(火)～6月30日(月)  
 時間: 午前10時～午後4時(入館は午後3時45分まで)  
 会場: 石山寺豊浄殿  
 休館日: 「石山寺と紫式部」展開催期間中は無休。  
 拝観料: 一般300円/小学生150円(入山料別途)